

平成28年度豆類振興事業助成金(試験研究)の成果概要の要約

①課題:小豆の機械収穫適性を向上させる長胚軸に関するDNAマーカーの開発

代表者:帯広畜産大学 環境農学研究部門 教授 加藤 清明

目的

小豆でも着莢位置が高くなる長胚軸の特性を有することで、普通型コンバインによる収穫時の損失を減少させることが可能となる。そこで、長胚軸系統を確実に選抜できるDNAマーカーを開発し、もって小豆の機械収穫適性品種の作出につなげる。

成果

①長胚軸系統と普通胚軸系統の交配後代における遺伝解析

・長胚軸系統と普通胚軸系統の交配後代について、胚軸長等を調査することにより、遺伝解析を行なった。

②長胚軸系統選抜のためのDNAマーカーの開発

・長胚軸系統と普通胚軸品種間の交配集団の胚軸長と関連するDNAマーカー1種を得た。



普通胚軸品種 長胚軸系統